（別紙様式）

令 和 8年 度　学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト （ 県立大宮北特別支援学校 ）

目 指 す 学 校 像	児童生徒が明るく、豊かに、たくましく成長し、社会にはばたく力を身に付けられる学校

重　点　目　標	1　ＩＣＴの効果的な利活用をさらに進めるとともに、一般学級・重複障害学級の教育課程の特徴をより明確にした授業を実践する。 2　施設面も含め、より安心安全で、より豊かな学びが実現できる学習環境を整備する。 3　学校運営評議会（コミュニティスクール）を活用し、より充実した「社会に開かれた教育課程の実現」の視点を取り入れた効果的な教育活動を行う。

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者　学校関係者　　名
　　生徒　　名
　　事務局（教職員）　　名

学　校　自　己　評　価								学　校　関　係　者　評　価
年　度　目　標					（２　月　１　日　現　在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	学校全体のＩＣＴの利活用について、児童生徒の実態に即した授業の組立や教材開発、効果的な授業実践を継続し、学校と保護者間の連絡等についても ICT 活用の課題として取り組む必要がある。 一般学級・重複障害学級の教育課程に基づき、児童生徒の実態に応じて適切かつ効果的な指導を進めていくことが課題である。	授業、校務及び保護者との情報共有におけるＩＣＴの効果的な利活用の充実	ＩＣＴ全般を取り扱うデジタル委員会を新たに設置し、検討をすすめる。各教職員が「ＩＣＴの利活用」を加味した授業実践、校務及び保護者との連絡等に取り組めたかアンケートを実施する。 【全教職員】	９０％以上の教職員が授業において「ＩＣＴの利活用」ができたか。 保護者との連絡や校務（DocuWorks や賢者）等にＩＣＴの利活用がされたか。				
		一般学級・重複障害学級それぞれの教育課程の特徴を反映した授業実践	各学部の教育課程の特徴を反映した授業を工夫し、実践する。 【各学部】	各教育課程の特徴を反映した授業実践について、各学部の実践例が校内や事例の共有として示されていたか。				
2	児童生徒増による過密化が続く中、日常の教育活動と教室環境整備に取り組み、安全性及び質の維持・向上、児童生徒に対する配慮・工夫が必要である。 大規模災害時を想定した全校一斉の引き取りについて、実施方法や具体的な対応を検討する必要がある。 全校研究「自立活動」では、校内の課題について、研究と実践の成果を十分に全校で共有し、学校全体として、日々の教職員の指導や学習環境の整備に反映させる。	施設設備のより安心安全な整備及び限られた施設設備の有効活用と災害時・緊急時の実践的な対応訓練	今後の児童生徒の増加を見据え、施設設備をどのように有効活用していくか、災害時・緊急時の対応もより実践的な内容になるよう検討する。 【管理職、企画委、関係部】	施設設備の改修等、施設の適切な活用計画（教室配置等）が策定できたか。 大規模災害を想定した防災マニュアルの更新および全校一斉の引き取り訓練を実施できたか。				
		研究のテーマに沿って、整理および個別の事例について研究と実践	指導の系統性や一貫性等を含め、自立活動の指導の充実に向けて全体研究に取り組む。 【各学部、研究部】	各学部の自立活動における指導の充実、各学部間の指導の系統性や一貫性に取り組むことができたか。				
3	「社会に開かれた教育課程の実現」の観点からコミュニティスクールを活用し、広く校外のニーズや視点を取り入れ、外部資源である地域団体等と連携する。 小中学部では、近隣の小中学校との直接交流をさらに促進する。高等部では、本校・分校の生徒の交流活動について、実態に合わせながら方法等を工夫し促進する。	コミュニティスクールの効率的な活用	コミュニティスクールの力を活用し、情報発信や外部資源の活用等について進める。 【管理職、企画委、その他】	コミュニティスクールと学校が連動して、教育的ニーズを共有し、学校運営に生かすことができたか。				
		さいたま西分校との交流促進 近隣小中学校との学校間交流促進	さいたま西分校との生徒会交流を進める。 【高等部】 指扇北小、指扇中との学校間交流を活性化させる。 【小中学部】	さいたま西分校との生徒会交流が２～３回できたか。 近隣小中学校との学校間交流が実施できたか。				